

令和7年度 富山県畜産振興推進方針

1 基本方針

- 生産基盤の整備や飼養技術の高位平準化、飼料自給率の向上などにより経営の安定化を図るとともに、県産畜産物のブランド化、消費拡大を推進する。
- 高病原性鳥インフルエンザ、豚熱などの家畜伝染病防疫対策の強化などにより、発生予防とまん延防止に努める。
- 地域と調和した畜産経営を推進するとともに、畜産が持つ多面的機能を活用し、耕作放棄地等の有効利用など地域活性化の取組を進める。

2 主要目標

区 分		R 7 年度 目標		(参考) R 6 年度見込み	
① 畜産物の生産量・産出額	生産量(t)	産出額(億円)	生産量(t)	産出額(億円)	
	生 乳	12,200	19	12,579	19
	牛 肉	650	14	645	13
	豚 肉	4,000	24	3,950	24
	鶏 卵	12,000	32	11,616	30
② 飼料自給率 (%)		28		28	
③ 飼料用稲面積(ha) (県内生産・流通分)	飼料用米	590		590	
	稲WC S	480		480	
	計	1,070		1,070	
④ 水田放牧等の面積 (ha)		22.0		22.0	

3 重点推進事項

<生産基盤の強化>

- (1) 国の畜産クラスター事業等による施設・機械の整備や公共牧場の活用、畜産スマート技術の導入、暑熱対策等への支援により、生産基盤の維持・拡大を推進。
- (2) 優良種畜(大家畜、豚、受精卵)や性判別精液の導入による家畜の改良増殖を推進。

<経営競争力の強化・新たな担い手の確保>

- (1) 畜産物の価格安定制度の活用や飼料等の価格高騰対策などにより経営安定を支援。
- (2) 「とやま和牛 酒粕育ち」、「とやまポーク」等のブランド力の強化や消費拡大の取組みを推進。
- (3) ㈱富山食肉総合センターでの安全安心な食肉の供給を支援。
- (4) 農場HACCPや畜産GAPの推進、新規就農希望者と遊休施設等のマッチング、法人化による経営継承など新たな担い手等の確保対策を推進。

<地域と調和した経営の推進>

- (1) 飼料用米・稲WC S、子実用とうもろこしの生産・利用の推進、未利用資源の活用による飼料自給率の向上、良質堆肥を活用した耕畜連携による循環型農業を推進。
- (2) 家畜伝染病の発生予防とまん延防止のため、豚熱ワクチンの接種、野生動物の侵入防止、消毒徹底などの飼養衛生管理対策と防疫資材の確保など体制整備を推進。
- (3) 耕作放棄地等での簡易放牧や蜜源等としての活用を推進。